

笑顔



横浜市立大鳥中学校長 榮 修吾

雨降って・・・

平成28年度も、今日で111日目（4月1日～7月20日）となりました。私の印象では、「よく雨に降られたなあ。」なのですが、この期間の過去の天気記録を調べてみると、雨マークがついている日数は42日（気象庁HPより）。例年と比べて特に雨が多いとは言えないようです。

2年生自然教室1日目、体育大会予定日、そして3年生修学旅行3日間はそれぞれ雨だったのが強く頭に残っているからでしょうか。いや、それ以上に、雨を吹き飛ばすような生徒の皆さんの活躍が、私の心に強く刻まれているからかもしれません。『笑顔と挨拶』『愛のある実践』が着実に進められているのを感じています。運動部の夏の大会（ほとんどが3年生最後の公式戦）での闘いぶりを見ても、一人ひとりの向上心と、チームとしてのまとまりが感じられて、大鳥中の生徒を心から愛しく思いました。「いいね、大鳥中！！」

「雨降って地固まる」という言葉があるように、失敗や挫折、困難やトラブル等を一つ一つ乗り越えながら、人として成長できる、仲間として助け合い支え合える、そんな大鳥中学校であり続けたいと思います。



3年生 鹿児島修学旅行（6月28日～30日）

鹿児島に123の笑顔を咲かせよう ～平和な未来への第一歩～



知覧特攻平和会館での講話、展示見学を通して、命や平和の尊さについて考えました。横浜市中区出身の特攻隊員がいたこと、特攻隊員の家族への思いを綴った手紙など、胸に迫る貴重な資料に触れることができました。

鹿児島市内での民泊では、それぞれの家族の一員として温かく迎えていただき、様々な体験活動に取り組みました。ゆっくり流れる時間の中で、鹿児島ならではの文化や風土に触れる貴重な機会となりました。





1組 民泊 退村式



2組 民泊 退村式



3組桜島をバックに仙巖園にて

よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト中区予選（6月28日 JICA にて） **奨励賞受賞**

「女だから 男だから」

2 学年 岩崎

突然ですが、みなさんは「ジェンダー」という言葉を知っていますか。私が最初にこの言葉を聞いたのは、小学校六年の頃でした。興味を感じてインターネットで調べてみると「社会的、文化的に作られる性別」とありました。また「世の中の男性と女性の役割の違いによって生まれる性別」とありました。同時に、ジェンダーによる差別が存在することも知りました。

日本人は男女の役割についてのこだわりが強いのかもかもしれません。男の人は小さい時、「男の子は泣かないの」と言われたことがあります。私は「女だから身なりをきちんとしなさい」と言われたことがあります。その言葉に反発し、いやな気持ちになったことを覚えています。

この差別は大人の社会でもあるかもしれません。現在、女性が社会に出て働くことは珍しいことではありません。しかし、「女にはできない」「女は働くべきではない」と考えている人がいるのも事実です。あなたの家族のことを考えてください。お父さんは仕事、お母さんは家事をするのがあたりまえになっていませんか。お母さんが働いて、お父さんが家事をしてもおかしくはないのです。しかし、このことに違和感を感じませんか。これこそが私たちの身近なところにある「性別による差別」なのではないでしょうか。

社会には性別による偏見を押しつけられて傷ついている人がいるはずですが、やりたいことをがまんしている人もいないのでしょうか。これは日本社会にとってもマイナスではないかと考えます。世界には女の子が学校に行けないという国もあります。これはその子の成長にとってマイナスになるだけではなく、その国にとってもマイナスになると思います。

では、これからどうしていけばよいのでしょうか。差別はいけないと、頭ではわかっているつもりですが、無意識のうちに「男なんだからしっかりして。」と弟に言うことが私もあります。これからは、差別ということをもっと意識して、自分の言動からなくすようにしなければならないと考えます。また、自分だけでなく、まわりの人にも「その言葉は差別になっているよ。」と教える勇気が必要だと考えました。

「女だから」「男だから」という先入観を捨てて、一人一人の個性を理解していくべきだと考えます。そうすれば、誰もが自分らしく笑顔で過ごすことのできる社会をつくり上げられると思います。

■ 夏季休業中の学校への連絡は、平日 8:30～17:00 にお願いします。TEL 621-4500

※8月8日(月)～15日(月)は学校閉庁日です。

この期間中の緊急連絡は、東部学校教育事務所（TEL411-0608）までお願いします。

■ 夏休み明けの授業開始は、8月29日(月)です。午前授業、昼食なし部活動なし